

## 会議議事録

事業名	令和7年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業 (3)教職員の資質能力向上の推進① 効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	第3回授業改善サポーター養成講座開発委員会
開催日時	令和7年9月16日(火) 13:00~15:00
場所	オンライン
出席者	委員：小田 政江、合田 美子、猪俣 昇、吉橋 大樹、半田 純子 計5名 請負業者：飯塚 正成 計1名 合計6名
議題等	<p>1. 会議概要</p> <p>本委員会は、2025年度版「授業改善サポーター養成講座」の実施準備に向け、LMS 実装状況、オリエンテーション当日の運営体制、受講者編成、上司アンケート結果の共有、フォローアップ講座およびコミュニティ運営方針、教育連携、今後のスケジュール等を包括的に整理・協議するために開催された。</p> <p>当日は、委員および関係者がオンラインで参加し、各担当からの進捗報告と今後の役割分担を確認した。</p> <p>2. LMS（学習管理システム）実装状況および運用準備</p> <p>委員会ではまず、講座実施の基盤となるLMSの実装進捗が共有された。</p> <p>9月19日の実装完了を目標として作業が進んでおり、若干の遅延可能性はあるが致命的な問題は無い見込み。</p> <p>9/18 18:00 にLMS 差異に関する運用調整会議を実施予定。</p> <p>実装完了後、委員全員にID・パスワードを発行し、操作性・学習導線の最終確認を行う。</p> <p>現段階のプロトタイプは合田委員が確認中であり、実装後に委員全体で動作チェックを行う。</p> <p>連絡ツールとして、昨年度実績のあるLINEやFacebookグループの併用可能性を検討。</p> <p>有料アプリの追加利用は想定せず、受講生の利用実態を踏まえながら最適なツールを選択する。</p>

LMS 上の機能は基本的な学習導線として利用し、コミュニティ運営は外部ツールを主軸とする方向。

### 3. オリエンテーション（9/25）の運営体制

委員会では、オリエンテーション当日の進行・役割分担を詳細に確認した。

#### ●実施形式・内容

- ・オンライン開催、所要約1時間。
- ・冒頭でLMSへログインし、基本操作や学習導線を最小限説明。Net側メンバーも同席し質疑対応する。
- ・続いて、事前学習内容および初日までの準備事項を説明（担当：合田委員）。
- ・受講者同士の簡単な自己紹介（合田委員ファシリテート）。
- ・事務連絡として、問い合わせ窓口、集合場所・時間を明確に案内。

#### ●サポート体制

- ・LMS導入に関する説明時には、猪俣氏を含むシステム把握メンバーが支援。
- ・昨年度の受講生アンケートで「導入説明の不足」が指摘されていたため、今年度は説明時間を十分に確保する。

### 4. 第1回対面講座（10/7）の実施体制

#### ●会場・体制

- ・場所：デジタルハリウッド大学（御茶ノ水・3階教室）
- ・参加予定：吉橋、合田、猪俣、小田、田中、岡村（旅費申請済）ほか。足立氏は確認中。事務局の飯塚氏は不参加。

#### ●当日の運営

- ・委員は開始10分前を目安に集合。
- ・機材設営は細野氏・合田氏が中心となり、吉橋氏が必要に応じて支援。
- ・講座終了後、委員で30分間のふりかえりを実施し、受講生の様子共有と次回オンライン時の運営改善点を整理する。

### 5. 受講者編成と参加形態への対応

#### ●受講者数と属性

- ・現時点で14名が参加予定。
- ・うち2名は再受講（KBC学園・山川／崎原）。

●グループ編成

- ・～4名×4グループを基本とし、
- ・一法人での偏在回避
- ・受講者は同グループに入れず、未経験者と組み合わせて学びを促す
- ・分野ごと（IT・医療・美容など）の議論しやすさを考慮して初回編成を行い、回を重ねて組合せを調整する。

6. 上司アンケート結果の共有と示唆

●回収状況：9/16時点で6件回収。

●主な評価・成果

- ・授業設計の体系化
- ・段階的評価導入による学習姿勢の改善
- ・カリキュラム作成や新人研修への応用
- ・法人内プロジェクトの立ち上げ
- ・分野横断の対話促進

●組織的支援の必要性

- ・推進担当者の明確化
- ・活動評価やモニタリングの仕組み
- ・発表・共有の機会（1/9発表会案と整合）
- ・法人内周知の仕掛け

●課題・改善要望

- ・事前課題量の多さ（負荷調整の必要）
- ・報告書・インタビューの負担軽減
- ・組織全体への波及の難しさ
- ・成功事例の可視化の重要性

7. フォローアップ講座・コミュニティ形成方針

●コミュニティの目的

- ・受講生主体の自律的・継続的学習コミュニティの形成
- ・日常的な実践共有、ミニ勉強会（例：毎月第3水曜夕方）などの自発開催

●運用体制

- ・Facebook 非公開グループを中心に運用。

	<ul style="list-style-type: none"><li>・作成者は田中委員とし、初期リーダーとして KBC 再受講 2 名(山川・崎原)を指名。</li><li>・必要に応じ追加リーダーを選任。</li><li>・参加原則は「自発的参加」。ルール文書を整備し明確化する。</li></ul> <p>●運用ステップ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コミュニティ運用ルールの初期案をリーダー間で合意</li><li>・分野別サブグループ(IT、ロボット等)を許容</li><li>・運用方針確立後に第3期生を段階的に招待</li></ul> <p>●勉強会の試行</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・10/2に試行開催(鈴木先生講話→情報交換会)</li><li>・会場費は加盟校などの無償提供を模索</li><li>・講師費用は可能な範囲で全専研が支援</li><li>・飲食費は各自負担</li></ul>